



2016.5.2

5月 ちとせだより

幼保連携型認定こども園
神戸YMCAちとせ幼稚園

5月になりました。風が気持ちよい暖かさになり、蜂が藤の花に蜜を集めに来る季節になりました。新しく始まった年度は1ヶ月が過ぎて、子どもたちも保護者の方々も、いろいろな変化に慣れてきた頃でしょうか。

不安や期待、もしかしたら恐怖のような感情を抱いていただろう子どもたちも、今は新しい友だちが出来て、嬉しい、楽しい、時には喧嘩して、悔しい、嫌だ、と感じているかもしれません。

しかし感情は、言葉として覚えるのではなく、例えば「嬉しい」時はお腹の辺りが温かくなったり、「怖い」時には胸の中がグッと詰まって苦しくなったり、「嫌だ」や「悲しい」時は、首筋や背中がゾワッとする、風が肌に当たったり、雨上がりのきれいな薄い緑を見たときは、何だか胸の中がスーッとすする、そんな体や心の反応として経験し、記憶に蓄積されていくものだと思います。

隣で泣いている友だちを見て一緒に泣いてしまうのは、涙を見て、自分が泣いた時の「感じ」が体の中に蘇ってくるのでしょうか。喜んでいる友だちが居ると一緒に嬉しくなってくるし、「嫌だ」を体全体で表現している友だちを見て、自分もそんな「感じ」がしてくる…。

これは、自分以外の誰かの感情に寄り添うことができる、大切な力なのだと思います。

その力は、色々な「感じ」をたくさん持っている、より豊かになるのだと思います。

私たちはみんなが元気に楽しく過ごすことを目指して保育していますが、時々起きる喧嘩やおもちゃの取り合いなどで子どもたちが感じているだろう「感じ」も、楽しさや嬉しさで消してしまうのではなく、ひとつひとつ大切に取上げていきたいと思っています。

年主題 『平和をともに』

<年主題聖句> 「キリストは私たちの平和であります。」

(エフェソの信徒への手紙2章14節)

5月主題 『感じる』

<聖句> 「初めに、神は天地を創造された。」

(創世記1章1節)